



「不正使用対策・セキュリティセミナー2019」

～あらゆるタッチポイントで属性情報の活用～

株式会社スクデット
代表取締役 細江啓太

2019/9/4

株式会社スクデット 会社概要

- 通称社名 株式会社 スクデット※非上場
[登記名：株式会社 スクデット] (Scudetto Corporation.)
- 所在地 〒104-0028東京都中央区八重洲2-11-7 一新ビル8F
TEL 03-45 00-7 2 8 2
URL <http://www.scudettoasia.com/>
- 設立 2011年4月25日
- 代表 細江 啓太
- 事業内容 不正対策・迷惑行為対策におけるコンサルティング
 - **ReD Shield** 不正対策システム・ソリューションの販売代理店
 - **iovation** デバイス認証ソリューションの販売代理店ECサイト売上向上におけるコンサルティング
 - **SaleCycle** ECサイト売上向上ソリューションの販売代理店
 - **Kibo RTI** リアルタイムパーソナライゼーションプラットフォームの販売代理店

- 販売代理
契約製品



※ 「iovation」及び「iovation」は米国iovation社の登録商標です。
「SaleCycle」および「SaleCycle」は英国SaleCycle社の登録商標です

不正対策の
スペシャリスト
集団

日本で一番難しい
不正手口に対して
サポート

グローバル企業
大手たばこ会社
大手アパレル
大手カード会社
大手百貨店
大手メーカー
大手航空会社

ReD Shield(カード不正検知システム)

決済代行 (PSP)

GMOPG
VERITRANS※

目指す重要指標は

チャージバック比率 0.01%以下 =被害少ない
不正スクリーニング比率 3~7% =業務負荷が少ない

私達は「パートナー」としてお客様と一緒に
不正との戦いを「必死」でサポートします

※順番はアルファベット順です。

本日のトピックス

前半 「あらゆるタッチポイントで属性情報の活用」

- What's 属性分析
- Why 属性分析 now?
- How to use 属性分析
- Important Point 属性分析における重要なポイント
- When/Where to get 属性情報（いつ取得？）
→重要なタッチポイントで取得
- サービス紹介

What's 属性分析

「属性・行動」分析とは

主に3タイプの情報を取得し、複数のトランザクションにおける相関関係や取得情報における異常を見抜き不正を検知する手法

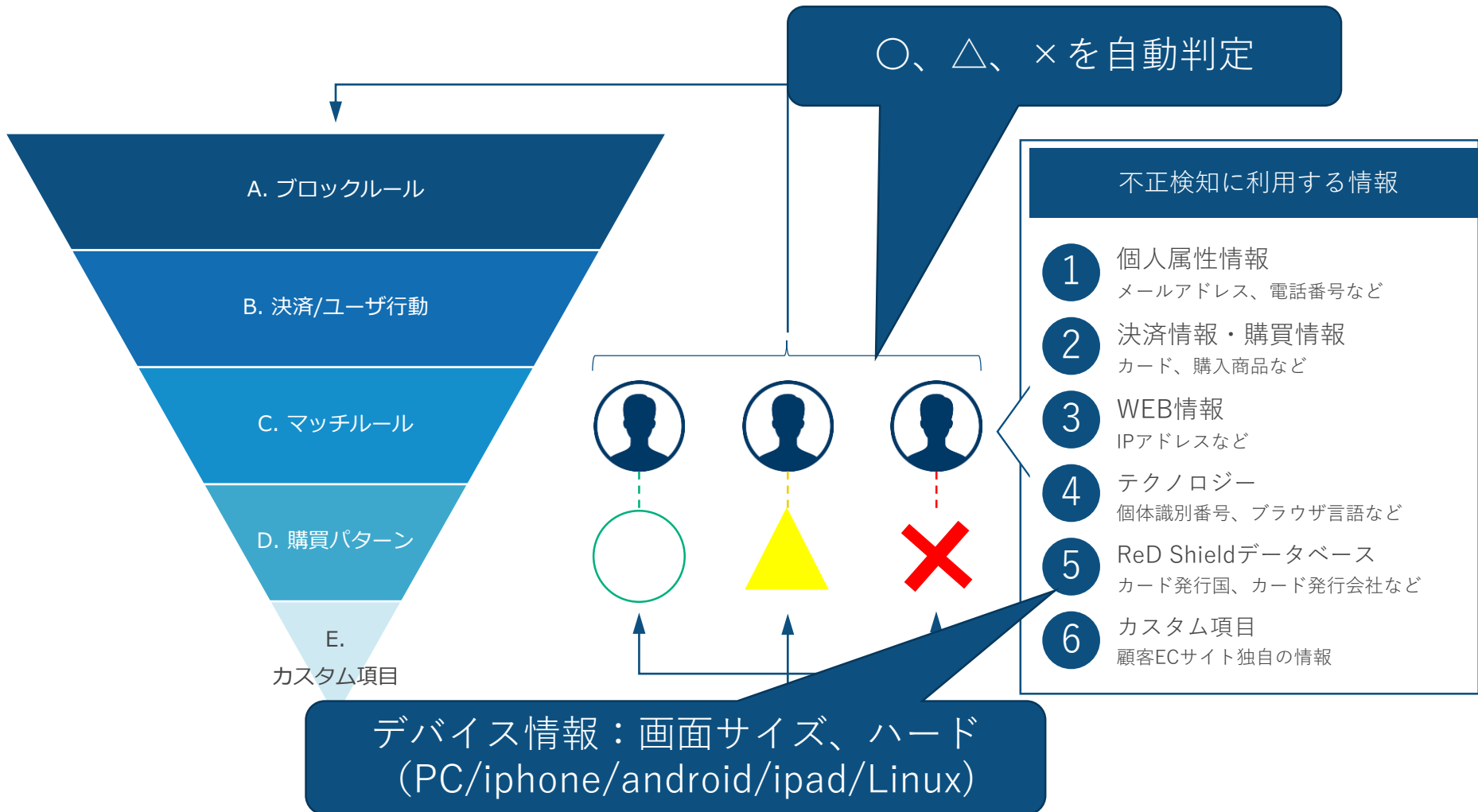
■ ユーザに気が付かれることなく取得できる情報

- ①ユーザのデバイス属性情報（クッキー等含む）
- ②ユーザがウェブサイトアクセスしているネットワーク情報

■ ユーザがお申込み／会員登録／決済する為にユーザが情報を提供していることを認知している情報

- ③ユーザの個人情報や決済情報

What's 属性分析



What's 属性分析？

同一デバイスから様々なメールアドレス・電話番号を使い購入している例

	<u>デバイスID</u>				<u>メアド</u>	<u>ユーザID (システムID)</u>
001VCO20181003203609096	111302846149913494	10/04/2018 09:36 AM	CHALLENGE	THREI	AHOO.CO.JP	30523245
001UDU20181003225820505	111302846149913494	10/04/2018 11:58 AM	CHALLENGE	POWE	3@YAHOO.CO.JP	30523321
001VB720181004045746596	111302846149913494	10/04/2018 17:57 PM	CHALLENGE	HIMA\	U123@YAHOO.CO.JP	30523405
001UCO20181004050736198	111302846149913494	10/04/2018 18:07 PM	CHALLENGE	MOBIL	@YAHOO.CO.JP	30523407
001SDZ20181004051605371	111302846149913494	10/04/2018 18:16 PM	CHALLENGE	SHOP	@YAHOO.CO.JP	30523408
001ZB020181004115652871	111302846149913494	10/05/2018 00:56 AM	CHALLENGE	NIKO2	AHOO.CO.JP	30523507
001UA020181004120537639	111302846149913494	10/05/2018 01:05 AM	CHALLENGE	SALE	HOO.CO.JP	30523508
001UA020181004121520258	111302846149913494	10/05/2018 01:15 AM	CHALLENGE	SUPEI	@YAHOO.CO.JP	30523510
001OCI20181004122457434	111302846149913494	10/05/2018 01:24 AM	CHALLENGE	JAPAI	@YAHOO.CO.JP	30523511
001ZA820181004123342440	111302846149913494	10/05/2018 01:33 AM	CHALLENGE	PERSI	I@YAHOO.CO.JP	30523512
001ZCB20181004124227172	111302846149913494	10/05/2018 01:42 AM	CHALLENGE	SUZU	YAHOO.CO.JP	30523513
001SEE20181004125223502	111302846149913494	10/05/2018 01:52 AM	CHALLENGE	FREA	AHOO.CO.JP	30523514
001SAH20181004130419260	111302846149913494	10/05/2018 02:04 AM	CHALLENGE	KITAN	?3@YAHOO.CO.JP	30523517

3. 非対面取引におけるクレジットカードの不正利用対策

2019改訂
ポイント

□不正利用方策の内容見直し

◆「属性・行動分析」の定義・メリットを再整理

- ベンダーが提供する一般的なサービス名「不正検知システム」を、方策名称として括弧書きで追加。
- 「不正判定の条件設定を更新・変更する機能を有すること」「個々の取引を人的対応でなく自動判定すること」を、方策要件として定義。
- 導入メリットとして、加盟店でしか収集できない情報（デバイス情報等）を活用できるため検知精度向上が期待できる旨を追記。

過去の実行計画では
「加盟店は不正検知システムを利用」を推奨
加盟店はPCIDSS取得していない場合、
カードを保持してはならない／非通過に
しなければならない

□好事例集の改訂

- 4つの不正利用方策を導入したEC加盟店の最新の評価や分析結果に基づき、好事例集（実行計画上の方策導入による不正抑止の好事例の紹介）を改訂。

理由その2：最新の手口・傾向「決済から決済周辺へ」→「アカウントそのものを狙う」

2017年にご案内した トレンド「決済から周辺決済へ」

ECサイトでの
不正対策規制強化

カード情報非保持化
・非通過型化対応

カード情報の流出が減少

カード番号盗用もありつつ
不正は多様で新たな手口へ！

2019年あらゆるユーザの タッチポイントを狙う

新サービスで
虚偽申込

不正入手された
カードや個人情報
でカードを発
行しカードの使
い込みをする

決済サービス
における
アカウント
のとり

身に覚えのない
登録済みカード
の不正利用

身に覚えのない
ポイント／マイル
の不正利用

新しいチェックポイント

不正手口の背景

新サービスで
虚偽申込

不正入手された
カードや個人情報
でカードを発
行しカードの使
い込みをする



カード番号入手
が難しければ、
カードそのもの
を作る！

虚偽申込

決済サービス
における
アカウント
のとり

身に覚えのない
登録済みカード
の不正利用



カード番号入手
が難しければ、
カード番号登録
済みのアカウント
を乗っ取る！

ログイン
不正

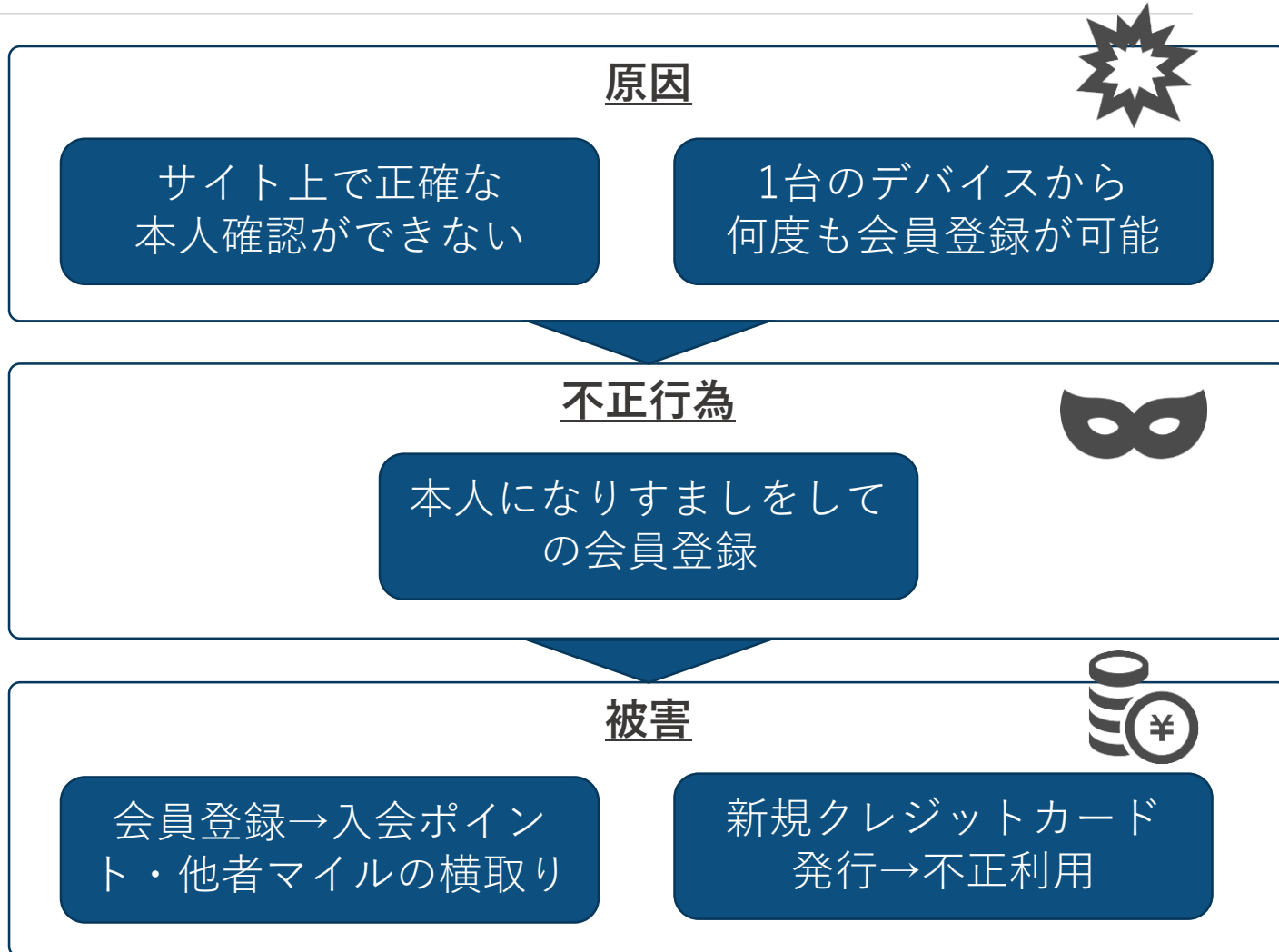
身に覚えのない
ポイント／マイル
の不正利用



カード以外の金
融資産を狙う！

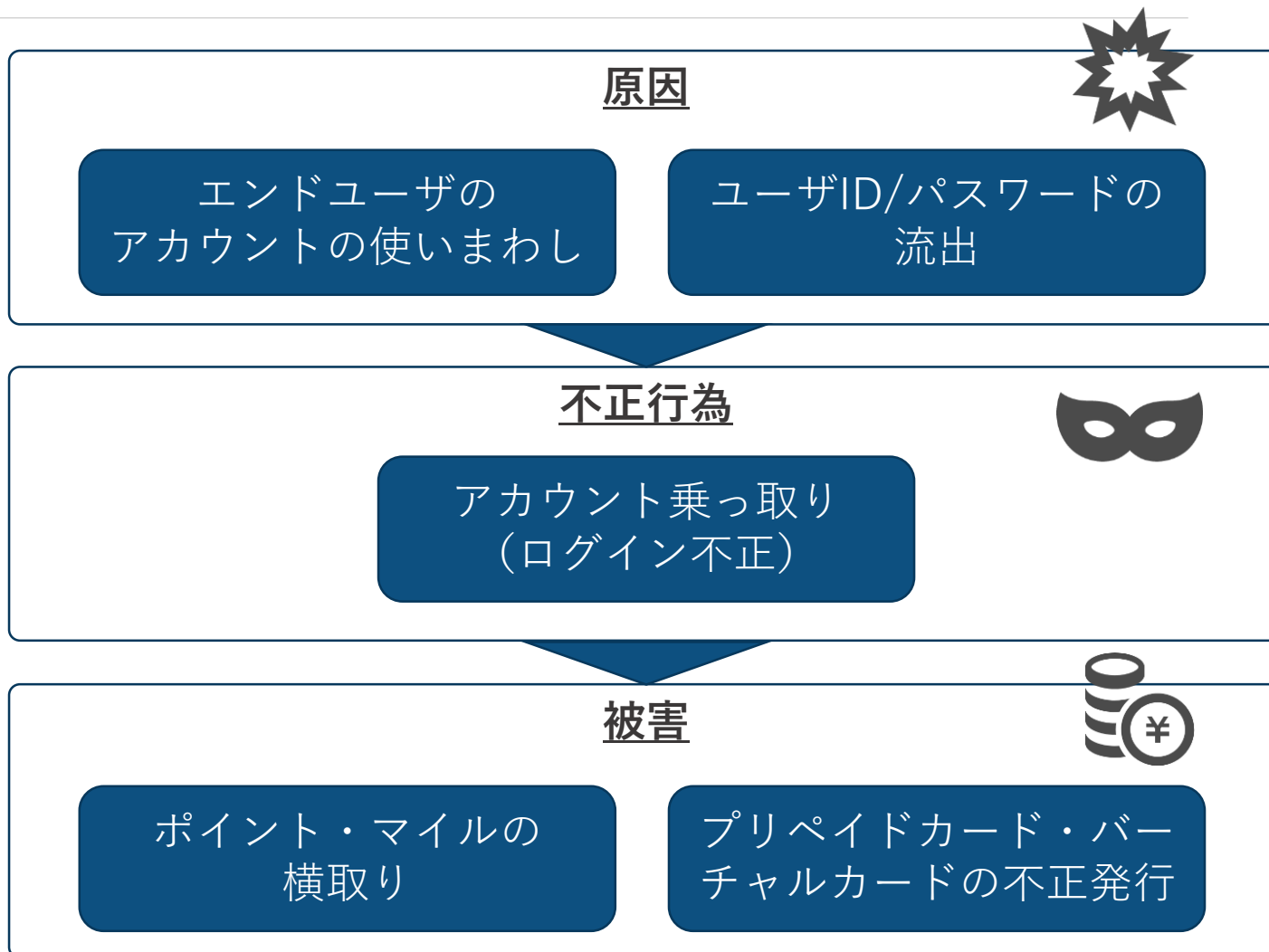
ポイント
不正

新たな手口 ①なりすまし会員登録／ポイント交換



犯罪者はターゲットとしたサイトでbotを利用し一気に繰り返し会員登録を行うため、被害額は大きくなる傾向があります。

新たな手口 ②アカウント乗っ取り（ログイン不正）



**犯罪者は大量のID/パスワードを入手し、
複数サイトで一気に犯罪行為を行います。**

属性分析を利用する中で重要なポイント

- 属性情報は一般的な受注データやIPアドレスだけでは効果がだしにくい。

属性情報に紐づくデータが肝であり、これらの情報をどう有効活用かが重要

例：カードBIN →カード発行国、カード発行会社

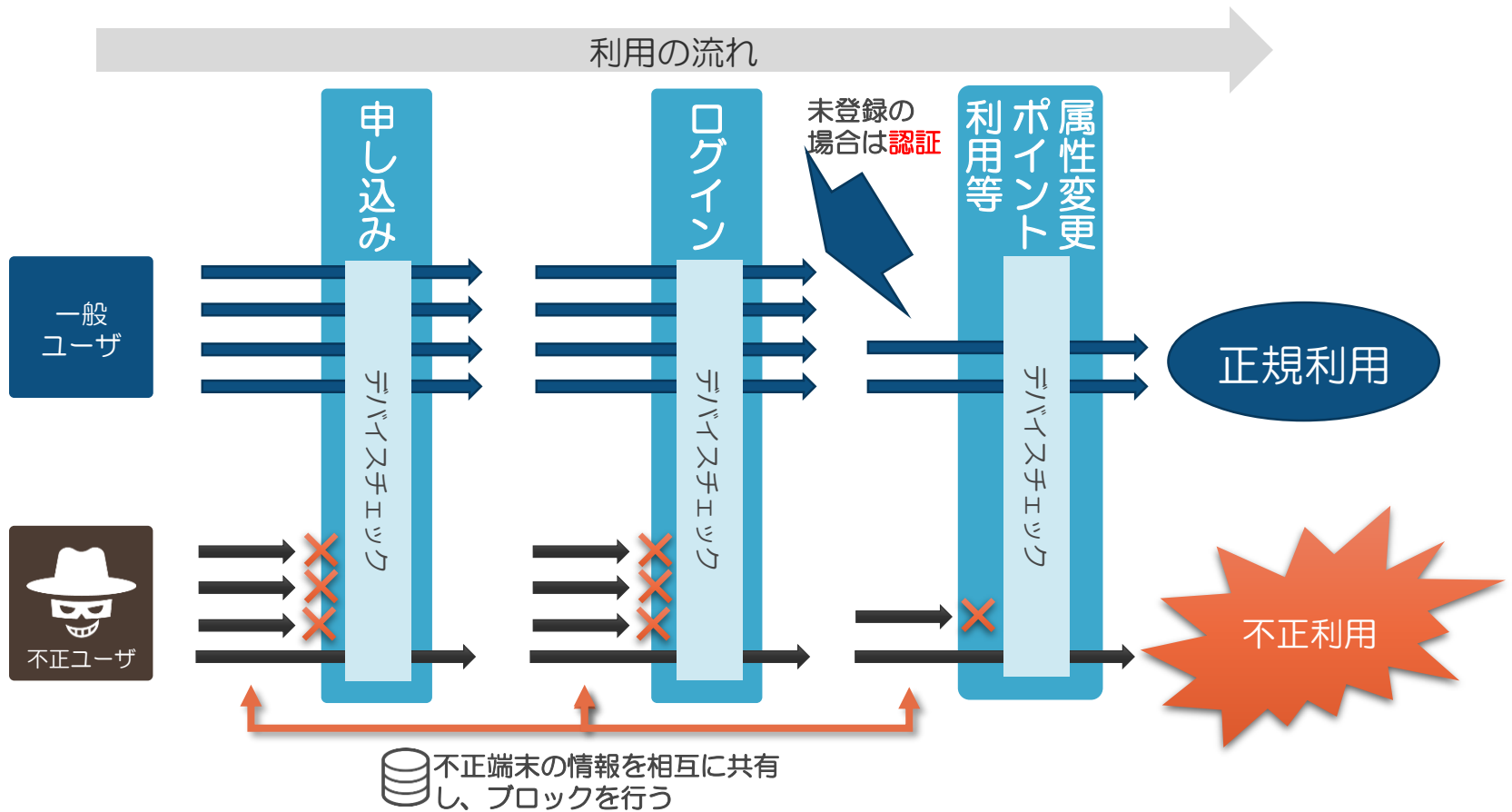
例2：IPアドレス→アクセス元の国、都市、中継サーバの利用、ISPなど

これらとブラウザ言語などみて、スペイン語ユーザがメキシコカードでメキシコからアクセスすればOK。

ロシア人がメキシコカードでアメリカからアクセスしていれば×

- 属性分析は不正傾向を洗い出す際のデータ量が格段に増加する為、一般的なエクセル等の通常のPCでは分析が困難。
一般ユーザは1台だけでなく複数のPCやモバイルデバイス、タブレットを保有しており、蓄積するデータ量が増加。たくさんあるデータの中から不正傾向を見出すことは容易ではなく、そのサポートを当社は致します。

When/Where to get 属性情報



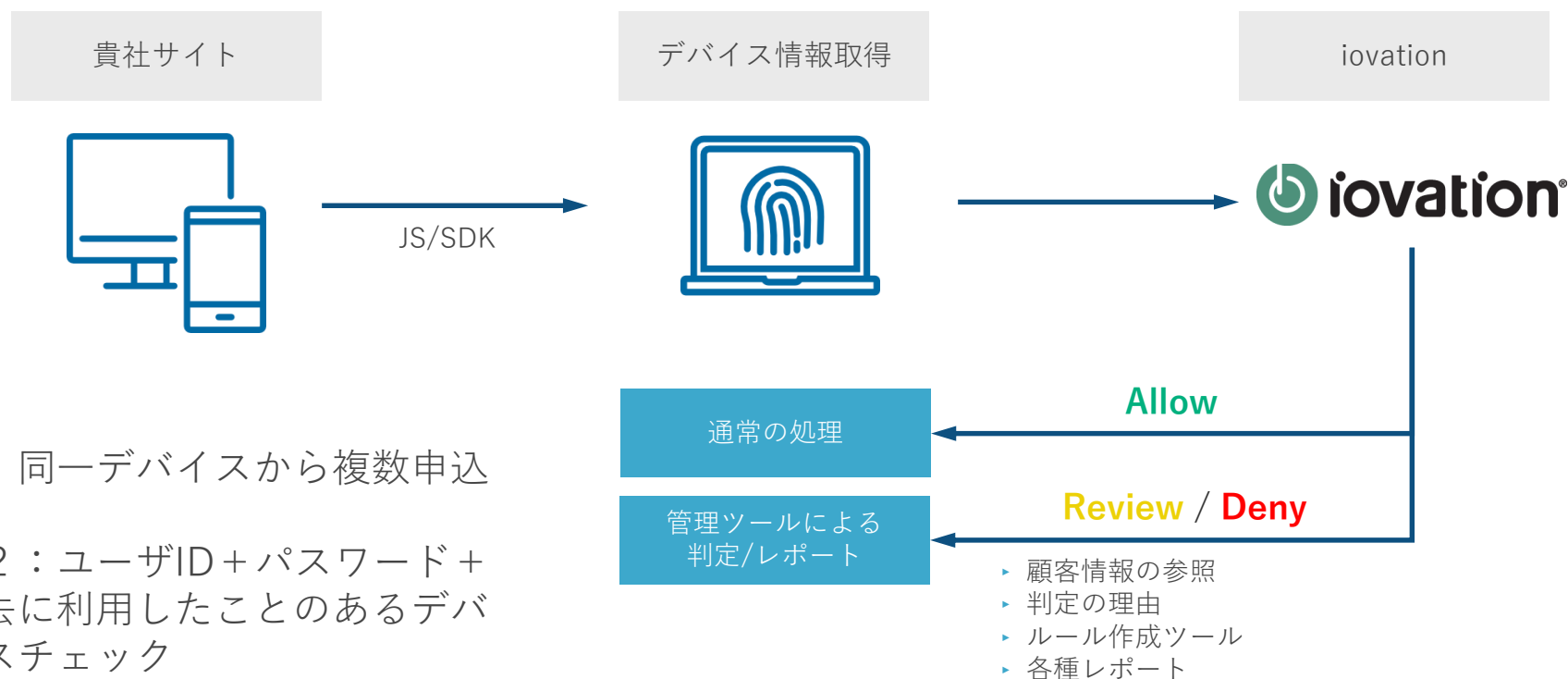
申し込み時、ログイン時、属性変更時の情報と多面的に活用することで、不正者を見破る精度が高まります。

更には・・・

- 海外ではコールセンターまで本人のフリをしてアカウントリセットを実施しているケースが多数でてきている
- 実店舗まできて本人確認や住所変更などしているケースもでてきている
(ECにおけるオムニチャネルが新たな不正手口を増やしている)

iovationサービス概要

- ユーザのデバイス（PC/スマホ）情報をもとにリアルタイムで判定
- 取引すべきか否かの審査結果を、許容リスクに沿ってAllow/Review/Denyで返答
- 貴社不正モニタリングシステムへの組み込みが可能

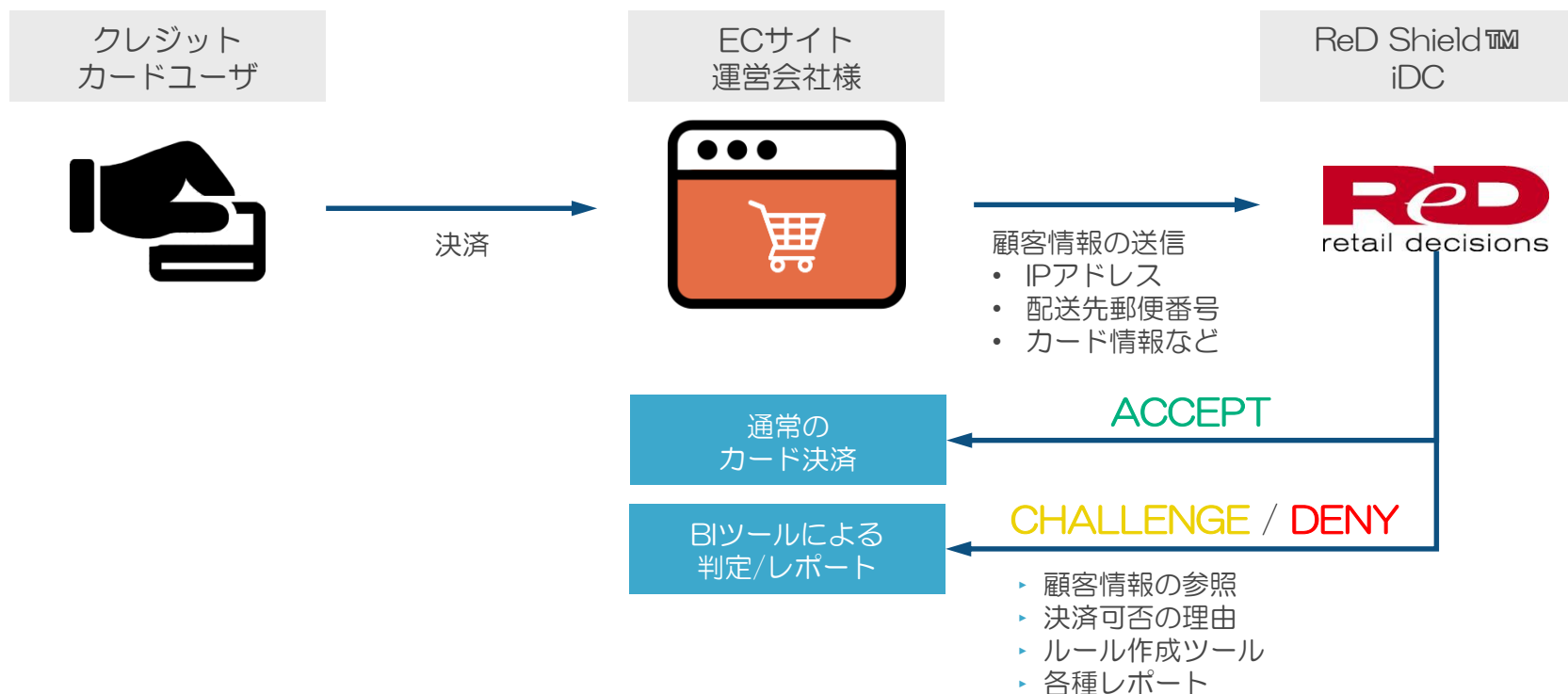


例：同一デバイスから複数申込

例2：ユーザID+パスワード+過去に利用したことのあるデバイスチェック

個人情報 + デバイス属性 不正対策：ReD Shield™

貴社のカードトランザクションをリアルタイムで判定
取引すべきか否かの審査結果を、許容リスクに沿ってAccept/Challenge/Denyで返答
ReD Shield™のセンターと接続のための設定をご支援



本日のトピックス

後半：「メールアドレス」をキーとした不正使用対策サービス「emailage」の取組」

- ・なぜメールアドレスは不正対策に有効か
- ・メールアドレス以外の情報保有期間との比較
- ・メールアドレスやIPアドレスから審査する情報（例）
- ・デモ

※「iovation」及び「iovation」は米国iovation社の登録商標です。
「SaleCycle」および「SaleCycle」は英国SaleCycle社の登録商標です